

山梨県立大学 看護学部看護学科専門科目のカリキュラムマップ

| | |
|----|--------|
| 大学 | 山梨県立大学 |
| 学部 | 看護学部 |

理念・目的

看護学部は、人間や社会を看護学の視点から探究する能力、科学的な思考力と倫理的な判断力、専門職業人としての豊かな人間性を兼ね備え、優れた看護実践により地域に貢献できる人材を育成します。

教育目標

人間や社会を看護学の視点から探究する能力と看護の対象への『科学的知』と『哲学・倫理的知』をもって、看護実践により地域に貢献できる能力を啓発します。さらに、専門職業人としての豊かな人間性を育成します。

1. 学問的探究心を持ち、看護学の発展に貢献できる看護実践者を育成します。
2. 科学的思考と倫理的判断力に基づき、自己の考えや行動を発展させられる看護実践者を育成します。
3. 看護の対象となる個人や家族、集団、地域社会の健康課題を多角的にとらえ実践できる看護実践者を育成します。
4. 保健・医療・福祉のチームの一員として、人々と連携し協働できる看護実践者を育成します。
5. 社会の動向に関心をもち、看護を取り巻く状況への変革を志向できる看護実践者を育成します。

学位授与の方針

看護学部は、以下のような能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士(看護学)の学位を授与します。

1. 自然や地域・社会への関心を持ち、幅広い教養を身につけている。
2. 豊かな人間性を備え、自律した自己学修力を身につけている。
3. 人間や社会、及び健康について看護学の視点から探究する能力を身につけている。
4. 自己理解や他者理解に努め、看護の対象となる人々と援助関係を形成する能力を身につけている。
5. 根拠に基づいて看護実践するための科学的思考力及び倫理的判断力を身につけている。
6. 人々の健康課題を解決する看護実践に必要な専門的知識・技術・態度を身につけている。
7. 保健・医療・福祉などのチームの一員として、人々と連携し協働する能力を身につけている。
8. 社会の動向に関心をもち、創造力や発信力をもって看護を取り巻く状況への変革を志向する能力を身につけている。

「学士力」

「学士専門力」

| 学修成果 | | 測定方法 |
|--|----------|--|
| 自然や地域・社会への関心を持ち、幅広い教養を身につけることができる。 | 教養を高める力 | ・カリキュラムマップにて示す「教養を高める力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「教養を高める力」に係る科目の修得 |
| 豊かな人間性を備え、自律した自己学修力を身につけることができる。 | 自己学修力 | ・カリキュラムマップにて示す「自己学修力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「自己学修力」に係る科目の修得 |
| 人間や社会、及び健康について看護学の視点から探究することができる。 | 探究する力 | ・カリキュラムマップにて示す「探究する力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「探究する力」に係る科目の修得 |
| 自己理解や他者理解に努め、看護の対象となる人々と援助関係を形成することができる。 | 援助関係形成力 | ・カリキュラムマップにて示す「援助関係形成力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「援助関係形成力」に係る科目の修得 |
| 根拠に基づいて看護実践するための科学的思考力及び倫理的判断力を身につけることができる。 | 思考力・判断力 | ・カリキュラムマップにて示す「思考力・判断力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「思考力・判断力」に係る科目の修得 |
| 人々の健康課題を解決する看護実践に必要な専門的知識・技術・態度を身につけることができる。 | 看護実践力 | ・カリキュラムマップにて示す「看護実践力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「看護実践力」に係る科目の修得 |
| 保健・医療・福祉などのチームの一員として、人々と連携し協働することができる。 | 連携し協働する力 | ・カリキュラムマップにて示す「連携し協働する力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「連携し協働する力」に係る科目の修得 |
| 社会の動向に関心をもち、創造力や発信力をもって看護を取り巻く状況への変革を志向することができる。 | 変革を志向する力 | ・カリキュラムマップにて示す「変革を志向する力」に係る科目の授業評価における学士力到達度に関する自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「変革を志向する力」に係る科目の修得 |

教育課程編成の方針

看護学部の教育理念・目的に沿って、地域に貢献できる人材を育成することを念頭に4つ(看護師、保健師、助産師、養護教諭一種免許状)の教育課程を設置している。

学部の教育目標を具現化する教育内容は、以下の4領域からなるカリキュラム構造の中に授業科目として配置され、教養教育と学部専門教育が相互に関連しながら4年次まで積み上がり統合できるよう配置されている。

1. 人間存在領域(Personal Area):看護の基本概念である人間や社会、及び健康に関連した知を探究する領域。
2. 実践領域(Art Area):看護実践の基盤となる理論や看護実践の向上に関連した知を探究する領域。
3. 研究領域(Research Area):看護の現象や看護実践の根拠に関連した知を探究する領域。
4. 哲学・倫理領域(Philosophical and Ethical Area):看護を取り巻く倫理的な課題や規範に関連した知を探究する領域。

入学者受入れの方針

看護学部は、地域に貢献できる優れた専門職業人の育成を目指しています。このために、人間や社会を看護学の視点から探究する能力や看護の対象への『科学的知』と『哲学・倫理的知』をもって看護実践に必要な専門的能力を啓発するとともに、専門職業人としての豊かな人間性を持った人材を育成します。したがって、高等学校卒業までの学習や生活体験を通じて人間や社会への関心を持ち、客観的・論理的思考ができ、また自己や他者を尊重できる態度が身につけている人の入学を希望します。看護学部看護学科では、これらの考えに基づき、次のような人を受け入れます。

1. 人間や社会に強い関心がある人
2. 人を尊重し、よりよい人間関係を築こうとする人
3. 客観的・論理的思考ができ、自分の考えや感じたことをわかりやすく表現できる人
4. 主体的な学習態度と基礎学力が身につけている人
5. 看護に強い関心がある人

特別選抜(推薦入試)においては、卒業後、山梨県内の保健・医療・福祉に就業する強い意思を有する人を受け入れます。

| カリキュラム | | | | 「学士専門力」の学修成果 | | | | | | | | | |
|----------------|---------|--------------|------|--------------|-------|-------|---------|---------|-------|----------|----------|---|---|
| 分類 | 科目名 | 単位数 | 授業形態 | 教養を高める力 | 自己学修力 | 探究する力 | 援助関係形成力 | 思考力・判断力 | 看護実践力 | 連携し協働する力 | 変革を志向する力 | | |
| 科目数 | | | | 53 | 84 | 85 | 45 | 73 | 62 | 54 | 49 | | |
| 看護学部 看護学科 専門科目 | | | | | | | | | | | | | |
| 人間存在領域 | 実践支持科目 | 解剖生理学 I | 2 | 講義 | ○ | ○ | | | | | | 2 | |
| | | 病原微生物学 | 2 | 講義 | ○ | ○ | | | | | | | 2 |
| | | 人間関係論 | 2 | 演習 | | ○ | | ○ | | | ○ | | 5 |
| | | いのちの社会学 | 2 | 講義 | | | ○ | | | | | ○ | 2 |
| | | 社会福祉学総論 | 1 | 講義 | | | ○ | | | | ○ | ○ | 3 |
| | | 生活健康科学 | 2 | 講義 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 5 |
| | | 解剖生理学 II | 1 | 講義 | ○ | ○ | | | | | | | 2 |
| | | 臨床栄養学 | 2 | 講義 | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | 5 |
| | | 看護心理学 | 2 | 講義 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | 6 |
| | | 健康情報学 | 2 | 講義 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 4 |
| | | 公衆衛生学 | 2 | 講義 | | | | | | ○ | | | 2 |
| | | 人間の遺伝学 | 1 | 講義 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | 5 |
| | | △保健福祉行政学 I | 2 | 講義 | | | | | | ○ | | ○ | 3 |
| | | 災害支援 | 1 | 講義 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 7 |
| | | 国際協力 | 1 | 講義 | | | ○ | | | | | ○ | 2 |
| | | 救急法 | 1 | 講義 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | 6 |
| | | 性のヘルスプロモーション | 1 | 講義 | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | 5 |
| | | 看護英語 | 2 | 講義 | ○ | ○ | | | | | | | 2 |
| | | 医療英語 I | 2 | 講義 | ○ | ○ | | | | | | | 2 |
| | | 医療英語 II | 1 | 講義 | ○ | ○ | | | | | | | 2 |
| 実践基礎科目 | 看護学基礎科目 | 看護学概論 | 2 | 講義 | ○ | ○ | ○ | | | | | 3 | |
| | | 看護理論 | 1 | 講義 | | ○ | ○ | | | | | | 2 |
| | | 基礎看護技術論 I | 1 | 演習 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 5 |
| | | 病態治療学 | 2 | 講義 | ○ | ○ | | | | | | | 2 |
| | | 薬理学概論 | 1 | 講義 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 4 |
| | | 臨床薬理学 | 1 | 講義 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | 4 |
| | | 疾病治療総論 | 2 | 講義 | ○ | ○ | | | | | | | 2 |
| | | 精神保健論 | 2 | 講義 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 6 |
| | | 基礎看護技術論 II | 2 | 演習 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 5 |
| | | ヘルスアセスメント論 | 1 | 演習 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 5 |
| | | 看護過程展開論 | 2 | 講義 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | 3 |
| | | 小児疾病治療論 | 1 | 講義 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | 5 |
| | | 母性疾病治療論 | 1 | 講義 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 5 |
| | | 精神疾病治療論 | 1 | 講義 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | 5 |
| | | 老年疾病治療論 | 1 | 講義 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 5 |
| 医療安全論 | 1 | 講義 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6 | | |
| 地域・在宅看護概論 | 2 | 講義 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | 5 | | |

